

令和8年
2026年

5月11日
月曜日

第11945号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



- ▶ [畜産物卸売価格・4月] 和牛去勢A4価格は前年同期比265円高 …… P2
- ▶ 売上高、事業利益は過去最高に—日本ハムの2026年3月期決算 …… P2~3
- ▶ ハム・ソーセージおよび食肉は増収、プリマハムの26年3月期決算 …… P3
- ▶ ブラジルのパラ州で鳥フル発生、家禽肉等の輸入一時停止措置講じる …… P3
- ▶ 加工食品は減収減益、食肉は大幅増益—伊藤ハム米久HD決算会見② …… P4
- ▶ 令和6年新規就農者調査結果、4万3500人で前年並み—農水省 …… P4
- ▶ 日本植物蛋白食品協会が総会開催、新会長に昭和産業・小山氏 …… P5
- ▶ 2026年1~3月の農林水産物・食品輸出額は前年同期比11.7%増牛肉は15.0%増—農水省 P5
- ▶ 持ち直しの動きに足踏みがみられる生活衛生関係営業の景況—日本公庫 …… P6
- ▶ 吉野家、ぜいたくな味わいの「絶品牛重」新発売 …… P6
- ▶ いなげやが「デミグラスソースハンバーグ&カニコロ弁当」リニューアル、ハンバーグのボリュームをアップ …… P7
- ▶ 松のや「国産雪国育ちうまトマロースかつ」発売 …… P7
- ▶ まい泉、「岩下の新生姜の巻きかつ」期間限定販売 …… P7
- ▶ [資料]畜産物卸売価格の推移 …… P8
- ▶ [資料] 2026年3月分の食肉輸入通関実績⑧ …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]8日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]8日 …… P11

注目のヘッドライン

【畜産物卸売価格・4月】和牛去勢A4 価格は前年同期比265円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた4月の畜産物卸売価格の推移(8面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は135万1200頭(前年同月比1.8%減)となった。

…詳細はP2

売上高、事業利益は過去最高に—日本ハム の2026年3月期決算

…詳細はP2~3



改訂新版 **牛枝肉・部分肉の分割と商品化**

職人の技 カラー写真 丁寧な解説

B5判/216頁
定価 **5,500円** (税込) (送料別)

食肉通信社

【畜産物卸売価格・4月】和牛去勢A4価格は前年同期比265円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた4月の畜産物卸売価格の推移(8面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は135万1200頭(前年同月比1・8%減)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が771円だった。成牛のと畜頭数は8万9830頭(5・4%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2534円(265円高)、交雑牛B3が1794円(182円高)となった。

〔豚〕全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が6万5825頭(2・1%減)、中旬が6万3483頭(0・2%減)、下旬が5万3744頭(1・4%減)。東京の価格は上

旬が750円(149円高)、中旬が704円(128円高)、下旬が841円(222円高)となった。

〔牛〕全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が4519頭(1・8%減)、中旬が4817頭(17・9%増)、下旬が2753頭(18・2%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2545円(288円高)、中旬が2522円(235円高)、下旬が2546円(274円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1761円(169円高)、中旬が1795円(167円高)、下旬が1838円(222円高)となった。

売上高、事業利益は過去最高に 日本ハムの2026年3月期決算

日本ハムは8日、2026年3月期決算を発表した。それによると、売上高は1兆4573億9100万円(前期比6・3%増)、事業利益は683億4200万円(60・7%増)、税引前当期利益545億4500万円(46・6%増)、当期利益369億1800万円(32・8%増)、親会社の所有者に帰属する当期純利益350億6600万円(31・9%増)、当期包括利益合計額585億9500万円(97・7%増)で、売上高、事業利益は過去最高となった。

セグメント別の概況は次の通り。同社グループは2025年4月に「海外事業本部」を廃止し、加工事業本部と食肉事業本部の2事業本部体制に組織再編を行った。これに伴い、今連結会計年度から海外事業本部管轄下にあった全ての海外子会社および海外関連会社を、それぞれ加工事業本部および食肉事業本部に移管している。そのため、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に組み替えて、比較分析を行っている。

【加工事業本部】売上高は、前連結会計年度に取得した北米子会社

による製造数量増加があったものの、上期のシャウエッセン、チルドベーカリー群を除く各種品目の販売数量減少が影響し、前期比0・6%減の5303億3900万円となった。事業利益は、下期は販売数量回復によりハム・ソーセージ、加工品においては回復基調にあったものの、工場の稼働率低下に伴う製造経費の高止まりが影響し、28・6%減の71億8300万円となった。【食肉事業本部】売上高は、国産鶏肉および豪州牛肉事業における販売環境の改善や販売数量の増加に加えて、販売部門における適切な価格転嫁が奏功し、8・1%増の1兆341億3300万円となった。事業利益は、国産鶏の相場上昇に伴う生産部門での利

日本ハムの26年3月期決算

単位：百万円、%

		26年3月期	前期比	次期予想	前期比
連結	売上高	1,457,391	6.3	1,500,000	2.9
	事業利益	68,342	60.7	61,000	△10.7
	税引前当期利益	54,545	46.6	55,000	0.8
	当期純利益	36,918	32.8	-	-
	親会社の所有者に帰属する当期利益	35,066	31.9	38,000	8.4
個別	売上高	864,637	1.9	870,000	0.6
	営業利益	1,075	-	-	-
	経常利益	19,936	49.9	22,200	11.4
	当期純利益	22,560	37.0	20,900	△7.4
セグメント		売上高	前期比	事業利益	前期比
連結	加工事業本部	530,339	△0.6	10,748	10.5
	食肉事業本部	1,034,133	8.1	28,868	△15.2
	海外事業本部	31,027	15.0	4,477	82.0
	その他	31,027	15.0	5,418	61.9

益確保に加え、豪州産牛肉における販売施策の推進および豪州内販売が好調に推移したことなどにより、80・5%増の612億9600万円となった。【ボールパーク事業】 チーム成績の好調により観客動員数が過去最高を記録したことに加え、オフシーズンにおいても各種イベントを実施したことにより、「北海道ボールパークFビレッジ」の来場者数が堅調に推移し、チケッ

ト・グッズ・飲食収入が増加したことから、売上高は15・0%増の310億2700万円、事業利益は61・9%増の54億1800万円となった。

次期の業績は売上高1兆5千億円(2・9%増)、事業利益610億円(10・7%減)、税引前当期利益550億円(0・8%増)、親会社の所有者に帰属する当期純利益380億円(8・4%増)を見込んでいる。

ハム・ソーセージおよび食肉は増収、プリマハムの26年3月期決算

プリマハムは8日、2026年3月期決算を発表した。それによると、売上高は475億7400万円(前期比3・8%増)、営業利益は91億3100万円(2・0%増)、経常利益111億8500万円(6・5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益45億8700万円(35・2%減)となった。

売上高についてはハム・ソーセージ、加工食品および食肉の数量増により増収となった。営業利益はベンダー事業の減益はあったが、ハム・ソーセージ、加工食品および食肉の数量増によりおおむね横ばい、経常利益は営業利益の増加に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益はベンダー事業の悪化に伴う固定資産の減損損失および繰延税金資産の取り崩し、ならびにその他の子会社におけるのれんを含む固定資産の減損損失による影響を受け、減益となった。

セグメント別の概況は次の通り。加工食品部門の売上高は314億2700万円(1・0%増)、セグメント利益は79億2800万円(0・1%増)だった。食肉事業部門の売上高は160億6400万円(1・1%増)、セグメント利益は19億3100万円(1・6%増)となった。

次期の業績は売上高5千億円(5・1%増)、営業利益110億円(20・5%増)、経常利益120億円(7・3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益75億円(63・5%増)を見込んでいる。

プリマハムの26年3月期決算

単位：百万円、%

		26年3月期	前期比	次期予想	前期比
連結	売上高	475,574	3.8	500,000	5.1
	営業利益	9,131	2.0	11,000	20.5
	経常利益	11,185	6.5	12,000	7.3
	当期純利益	4,587	△35.2	7,500	63.5
個別	売上高	353,169	5.9	-	-
	営業利益	9,413	51.8	-	-
	経常利益	13,054	18.8	-	-
	当期純利益	10,573	31.5	-	-
	事業別セグメント	売上高	前期比	営業利益	前期比
連結	加工食品事業	314,627	1.0	7,928	0.1
	食肉事業	160,064	1.1	1,931	1.6

ブラジルのパラ州で鳥フル発生、家禽肉等の輸入一時停止措置講じる

農水省動物検疫所はこのほど、ブラジルの家禽飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことを公表した。これを受け、下記の地域から輸出される生きた家禽、家禽肉等については、輸入一時停止措置を講じる。

(ブラジルの生きた家禽の輸入一時停止対象地域)パラ州全域

(ブラジルの家禽肉等の輸入一時停止対象地域)パラ州アナジャス市

加工食品は減収減益、食肉は大幅増益—伊藤ハム米久 HD 決算会見②

(伊藤ハム米久HDが1日に行った2026年3月期決算会見での、野澤克己取締役常務執行役員管理本部長による決算概況の説明要旨の続き)

先ほど浦田社長から説明のあった通り、2026年3月期決算は増収増益となった。営業利益、経常利益、当期純利益といずれの段階利益においてもホールディングス発足後、過去最高益となり、経常利益については「中期経営計画2026」の目標値である300億円を1年前倒して達成することができた。

増減要因について、加工食品事業では、販売数量の減少を価格改定や内部改善でカバーすることに注力したが、主原料や運送コスト上昇などの外部要因がこれを上回り、減収減益となった。食肉事業では、輸入鶏肉の国内需給環境による収益改善と国内鶏肉生産事業の収益性向上などの国内事業要因に加え、アンズコフーズ社の北米向け牛肉販売事業の収益性改善と決算期変更などの海外事業要因により大きな増益となった。

売上高は前年比で826億円増加したが、この地域別内訳(日本/海外)をみると、日本国内ではハム・ソーセージにおいて人気アニメ映画と連動したキャンペーンの実施などによるブランド強化、価格改定、食

肉において国産鶏肉などで販売単価が上昇したことから、国内売上高は189億円増加した。海外では北米を中心に販売が伸長したことに加え、アンズコフーズ社の決算期変更もあり、海外売上高は638億円増加した。海外比率は19・8%(前期比4・8ポイント増)となった。

続いて、中尾周平常務執行役員経営戦略部長が26年度のセグメント別事業見通しについて次のように説明した。

加工食品事業では、経常利益100億円(6・3%増)を見込んでいる。内訳として、豚肉を中心とする主原料価格の上昇に加え、中東情勢の影響から資材費やユーティリティコスト、物流費の上昇が避けられないとみており、引き続き単価改善や内部改善で吸収し、増益を目指す計画としている。食肉事業では、経常利益195億円(13・8%減)を見込んでいる。内訳は、引き続き国内牛肉や国内豚肉で採算改善に向けた取り組みを進めるものの、25年度に国内鶏肉や輸入鶏肉で市況要因の後押しがあったこと、アンズコフーズ社の決算期変更などの反動減が想定される。(連載続く)

令和6年新規就農者調査結果、4万3500人で前年並み—農水省

農水省はこのほど、令和6年新規就農者調査結果を公表した。令和6年(6年2月1日~7年1月31日)の新規就農者は4万3500人で前年並みとなり、このうち49歳以下は1万5720人で、前年に比べ1・1%減少した。就農形態別にみると、新規自営農業就農者は2万9580人、新規雇用就農者は1万180人、新規参入者は3750人となっている。

新規自営農業就農者は2万9580人、このうち49歳以下は6110人で、前年に比べそれぞれ2・5%、4・8%減少した。新規雇用就農者は1万180人、このうち49歳以下は7050人で、前年に比べそれぞれ9・5%、2・5%増加した。

表1 新規就農者数の推移(就農形態別)

区分	計	就農形態別						新規参入者	
		新規自営農業就農者		新規雇用就農者		新規参入者		新規参入者	
		49歳以下	49歳以下	49歳以下	49歳以下	49歳以下	49歳以下		
令和2年	53,740	18,380	40,100	8,440	10,050	7,360	3,580	2,580	
3	52,290	18,420	36,890	7,190	11,570	8,540	3,830	2,690	
4	45,840	16,870	31,400	6,500	10,570	7,710	3,870	2,650	
5	43,460	15,890	30,330	6,420	9,300	6,880	3,830	2,590	
6	43,500	15,720	29,580	6,110	10,180	7,050	3,750	2,560	

また、新規参入者は3750人、このうち49歳以下は2560人で、前年に比べそれぞれ2・1%、1・2%減少した。新規参入した部門別にみると、露地野菜作が1150人と最も多く、次いで果樹作が910人、施設野菜作が590人となっている。畜産関係では、肉用牛が50人(16・7%減)と前年を下回った。

日本植物蛋白食品協会が総会開催、新会長に昭和産業・小山氏

一般社団法人日本植物蛋白食品協会は7日、東京都千代田区のKKRホテル東京で2026年度理事会、通常総会と創立50周年記念講演、パーティーを開催した。総会では25年度収支決算、26年度事業計画などの上程議案は全て原案通り承認された。新会長に小山征信氏(左上写真=昭和産業常務執行役員)が就いた。総会後に開かれた記者会見で小山会長は「中東情勢も緊迫が続く中、食料だけでなくエネルギー、資材などの安定した調達、供給が一層求められている。また、アジア、アフリカにおける人口増や経済成長に伴うタンパク質クライシスの問題も待ったなしの状況で、協会の果たすべき役割は大きく、会長の大役に身の引き締まる思いだ」と述べた。

また、昨年8月に協会創立50周年を迎えた記念講演とパーティーが開催された。記念講演は元農水省食料産業局長で日清食品HD社外取締役、高崎健康福祉大学特命学長補佐・農学部客員教授の櫻庭英悦氏(右上写真)が講師を務め「協会創立後半世紀の食品産業の変遷と今後半世紀の展望」のテーマで記念講演を行った。「協会が創立された1975年前後は、ファミリーレストラン、ファストフードチェーン、コンビニエンス・ストアが勃興した時期で、スナック菓子やインスタント食品などでは、現在も高い支持を得ているロングセラー商品の発売も相次いだ。太平洋戦争の終戦からわずか30年で経済成長を成し遂げ、食に豊かさだけでなく、便利さが求められるようになった」と述べた。

記念パーティーでは来賓として農水省大臣官房の河南健総括審議官(下写真)が「来年3月、横浜で開催されるグリーンエキスポ2027は、環境との共生を図



る日本の食品産業を世界にアピールする場でもあり、協会加盟各社をはじめ多くの企業に参加いただきたい」とあいさつ。田中万里副会長が乾杯の発声を言い、懇親が図られた。

新役員体制(5月7日付)は以下の通り。カッコ内は所属企業。会長 小山征信(昭和産業)▷副会長 岡雅彦(日清オイリオグループ)、鈴木清仁(不二製油)、田中万里(長田産業)▷専務理事 松本隆平▷理事 曾我時久(ニッポン)、中野正明(理研ビタミン)▷幹事 有海正浩(日清オイリオグループ)、高木亨(不二製油)

2026年1～3月の農林水産物・食品輸出額は前年同期比11・7%増 牛肉は15・0%増—農水省

農水省はこのほど、2026年1～3月の農林水産物・食品の輸出額を公表した。1～3月の累計輸出額は4060億円(前年同期比11・7%増)と増加し、3月単月の輸出額についても1540億円(8・4%増)となった。

1～3月累計輸出額を品目別にみると、牛肉が176億5800万円(15・0%増)、豚肉が7億200万円(2・4%増)と増加した一方、鶏肉は3億5200万円(0・3%減)と減少した。

持ち直しの動きに足踏みがみられる生活衛生関係営業の景況—日本公庫

日本政策金融公庫はこのほど、生活衛生関係営業の景気動向調査(2026年1~3月期)を発表した。この調査は、生活衛生営業企業を対象に訪問調査を行い3134企業から回答を得たもの(うち食肉・食鳥肉販売業154企業)。それによると、業況判断DIは、全業種計で前期から10.2ポイント低下して今期(26年1~3月期)はマイナス26.3となった。来期(4~6月)は19.9ポイント上昇し、マイナス6.4となる見通し。このうち食肉・食鳥肉販売業は前期から2.4ポイント低下してマイナス21.4となり、来期は9.1となる見通し。

売上DIは、前期から横ばいで推移し、マイナス12.1となった。来期は、マイナス幅が8.4ポイント縮小し、マイナス3.7となる見通しとなった。食肉・食鳥肉販売業は前期から12.1ポイント上昇して1.3となり、来期は9.7となる見通し。

採算DIは、前期からマイナス幅が4.0ポイント低下し、マイナス8.9となった。食肉・食鳥肉販売業は前期から0.7ポイント上昇して5.8となった。

利用客数DI(飲食業を除く)は前期からマイナス幅が1.9ポイント低下し、マイナス26.3となった。食肉・食鳥肉販売業は前期から0.9ポイント上昇してマイナス16.2となった。

客単価DIは前期から2.1ポイント低下して4.4となった。食肉・食鳥肉販売業は0.6ポイント低下してマイナス0.6となった。

設備投資の動向をみると、今期に設備投資を行った企業の割合は、全業種計で、前期から1.2ポイント低下し、17.3%となった。食肉・食鳥肉販売業は31.8%。今期の設備投資の内容は、全業種計で「機器・機械」(空調設備、照明設備、情報化設備を除く)が45.8%と最も多く、次いで「店舗・事務所の修繕」(30.1%)、「空調設備」(21.2%)の順となった。ま

た設備投資金額は500万円未満が全体の約8割を占めた。来期の設備投資計画(飲食業を除く)については「実施予定あり」が14.0%となった。

経営上の問題点では「仕入価格・人件費などの上昇を価格に転嫁困難」が53.8%と最も多く、次いで「顧客数の減」が43.0%、「店舗施設の狭隘・老朽化」^{きょうあい}20.8%となった。食肉・食鳥肉販売業でも「仕入れ価格・人件費などの上昇を価格に転嫁困難」(68.2%)が最も多く、次いで「顧客数の減少」(29.2%)「従業員の確保難」(24.0%)の順となった。

業況判断理由として、食肉業界が今期の不変と回答した理由は「仕入価格の上昇分を一部価格転嫁したが、品質を維持することで顧客の理解を得られ、売り上げは前年並みを維持できた(岡山県)」で、悪化と回答した理由は「物価高騰の影響で消費者の購買意欲が停滞している。卸売部門においても、飲食店向けの販売量が減少し、業況は悪化した(山形県)」との声や、来期においては、「お客さまの口コミで客数は増えているが、客単価が減少傾向にある(埼玉県)」「家畜の伝染病による食肉の輸入制限や円安による仕入価格の上昇に大きく影響を受けている一方で、価格転嫁は容易ではない(長崎県)」としている。

食鳥肉業界の今期を好転と回答した理由は「鶏肉の相場が安定傾向にある。また、年末年始は売り上げが好調だった(大阪府)」で、悪化と回答した理由は「仕入価格の高止まりと飼料価格の上昇から利益率が下がった(香川県)」。また、来期を不変とする理由として「値上げを検討しているが大幅な値上げは難しいため、業況は大きく変わらないだろう(福岡県)」とする声や、悪化すると回答した理由として「今後も食料品などの物価高騰が続くと予想されるため、消費者の購買意欲が低下する見込み(岡山県)」が挙がった。

吉野家、ぜいたくな味わいの「絶品牛重」新発売

(株)吉野家(東京都中央区、成瀬哲也社長)は7日から、牛のうまみを堪能できる新商品「絶品牛重」(税込み1207円)を、販売開始した。持ち帰り(1185円)も可能。厳選した脂の乗った国産牛を使用し、1枚ずつ

丁寧焼き上げ、同店特製のすき焼きタレを絡め、甘みの強い長ねぎ、そして味が染み渡った結びしらたきを添えた、こだわりの一品に仕上げた。

いなげやが「デミグラスソースハンバーグ&カニコロ弁当」リニューアル ハンバーグのボリュームをアップ

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス傘下で、東京西部を中心にスーパーマーケットを展開するいなげや(東京都立川市、本杉吉員代表取締役社長)は、4月29日から、既存の人気商品「デミグラスソースハンバーグ&カニコロ弁当」をリニューアルした。主役のハンバーグは80gから100gにサイズアップ。肉のうまみを生かしたシンプルな味付けで、ふっくらジューシーに仕上げた。

ソースは特選濃口しょうゆをベースに、香味野菜(玉ねぎ、にんにく)とりんご酢を加え、コクがありながらも後味はすっきりとさせて、目玉焼きとカニクリーム

コロケも付いた、満足感のある弁当となっている。

価格: 本体
価格 599円
/ 税込価格
646・92円

販売店舗:
いなげや・

ina21・ブルーミングブルーミーの全店舗



松のや「国産雪国育ちうまトマローズかつ」発売

(株)松屋フーズ(東京都武蔵野市、瓦葺一利社長)では、トンカツ業態の「松のや」で13日から、「国産雪国育ちうまトマローズかつ定食」(税込み、定食=1090円、単品=890円)を販売する。

同店で不動の人気を誇る「うまトマハンバーグ」でおなじみの、にんにくがガツンと効いた特製うまトマソース。今回、その“魔法のソース”が、北の大地ではぐくまれた「国産雪国育ちローズかつ」と合体した。

国産豚ならではのキメ細やかで甘みのある肉質に、濃厚なうまトマソースが絡み合うことで、一口ごとにあふれるうまみと香りが食欲を刺激する。その他、チーズをトッピングした「国産雪国育ちチーズうまトマ



ローズかつ定食」(1290円、単品=1090円)もラインアップし、ぜいたくなコラボレーションが楽しめる。

まい泉、「岩下の新生姜の巻きかつ」期間限定販売

井筒まい泉(株)(東京都港区、千大輔社長)は「とんかつ まい泉」と岩下食品(株)のコラボレーション商品「岩下の新生姜®の巻きかつ」(税込み400円)を13日から全国の直営店で期間限定で販売する。販売終了は6月23日を予定している。

まい泉で人気の「巻きかつ」シリーズに、岩下食品のロングセラー商品「岩下の新生姜」とのコラボレーション商品が期間限定で登場。「岩下の新生姜」を細

かく刻み、薄切りの豚ローズ肉で巻き、まい泉オリジナルのパン粉をを付けてサクッと揚げた同商品。さっぱりとしたしょうがと豚のうまみが相性抜群の一品に仕上げた。

「岩下の新生姜」は、1987年に発売を開始。台湾で丹念に育てたペンタオジャンという特別なしょうがを使用し、土掛けを繰り返す独特な栽培方法により、細長く、みずみずしく、爽やかな風味が楽しめる。

[資料] 畜産物卸売価格の推移

(令和 8年 4月)
単位：頭数(頭)， 価格(円/kg)

	豚 肉 極上・上		牛 肉			全国と畜 頭数		鶏 卵 東 京	鶏 肉 東 京	
	東京		東京 (加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
7年 3月	615	6,633	2,265	1,502	1,131	1,352,997	88,670	327	767	411
7年 4月	599	6,292	2,269	1,612	1,185	1,376,271	94,940	334	805	449
上 旬	601	2,382	2,257	1,592	1,168	62,138	4,601	330	785	431
中 旬	576	1,910	2,287	1,628	1,178	63,633	4,086	333	807	451
下 旬	619	2,000	2,272	1,616	1,205	54,522	3,366	338	827	467
8年 3月	677	6,460	2,449	1,666	1,313	1,386,157	88,316	323	844	522
8年 4月	771	6,557	2,539	1,794	1,347	1,351,200	89,830	316	843	504
上 旬	750	2,375	2,545	1,761	1,316	60,825	4,519	319	840	510
中 旬	704	1,792	2,522	1,795	1,361	63,483	4,817	315	847	505
下 旬	841	2,390	2,546	1,838	1,341	53,744	2,753	315	843	498
1日(水)	751	280	2,512	1,709	-	62,500	4,550	320	-	-
2日(木)	751	306	2,527	1,734	1,316	63,000	3,980	320	839	513
3日(金)	757	347	2,506	1,734	-	59,900	4,500	320	824	507
4日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	836	507
5日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6日(月)	755	287	2,533	1,744	-	61,000	5,010	320	844	503
7日(火)	775	265	2,542	1,773	-	55,900	4,760	320	847	509
8日(水)	764	242	2,589	1,797	-	62,000	4,600	320	-	-
9日(木)	729	361	2,558	1,805	-	63,400	4,170	315	845	511
10日(金)	730	287	2,572	1,801	-	58,900	4,580	315	844	519
11日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	849	509
12日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13日(月)	677	260	2,357	1,765	1,351	64,600	4,940	315	849	505
14日(火)	709	305	2,532	1,813	1,356	63,900	4,860	315	847	510
15日(水)	705	192	2,571	1,831	-	62,900	4,890	315	-	-
16日(木)	697	386	2,512	1,820	-	63,300	4,360	315	850	509
17日(金)	718	330	2,521	1,786	1,365	61,500	4,830	315	837	502
18日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	850	505
19日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20日(月)	716	319	2,524	1,750	1,342	64,700	5,020	315	847	495
21日(火)	777	315	2,548	1,824	1,356	63,900	4,600	315	841	501
22日(水)	805	308	2,559	1,840	-	61,800	4,500	315	-	-
23日(木)	812	326	2,554	1,839	1,358	61,600	3,930	315	853	504
24日(金)	844	356	2,566	1,819	1,240	63,800	3,780	315	837	497
25日(土)	-	-	-	-	-	3,200	160	-	847	504
26日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27日(月)	883	289	2,433	1,838	1,303	71,100	3,110	315	845	494
28日(火)	929	356	2,547	1,889	-	69,200	2,820	315	849	500
29日(水)	-	-	-	-	-	20,500	160	-	-	-
30日(木)	833	440	2,470	1,845	-	68,600	1,720	315	827	489

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜場のと畜実績からの推計値

注2) 当月の価格及び頭数は速報値

注3) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)

注4) 「-」は取引無し

注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込価格、鶏卵・鶏肉は税抜価格

[資料] 2026年3月分の食肉輸入通関実績⑧

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
TOTAL	990 KG		14493	12176	204377	104918
0408.11-000			卵黄(乾燥したもの)			
CHINA	105 KG		6000	7240	42700	47663
INDIA	123 KG		73000	102080	178000	242656
SWEDEN	203 KG		12800	64215	20769	91092
NETHLD	207 KG		23225	51378	23225	51378
USA	304 KG		36774	92187	108774	257648
ARGENT	413 KG		18600	28961	41600	63655
TOTAL	990 KG		170399	346061	415068	754092
(E. U)	991 KG		36025	115593	43994	142470
0408.19-000			卵黄(生鮮のもの及び蒸気又は水煮による調理、成型、冷凍その他保存に適する処理をしたもの)			
CHINA	105 KG		-	-	1260	3291
THAILND	111 KG		46080	37273	46080	37273
USA	304 KG		740000	652258	1700000	1389150
BRAZIL	410 KG		108625	78777	261252	189754
TOTAL	990 KG		894705	768308	2008592	1619468
0408.91-000			殻付きでない鳥卵(乾燥したもの)			
CHINA	105 KG		-	-	12500	13371
INDIA	123 KG		93300	115568	244600	302455
ITALY	220 KG		44000	86897	44000	86897
USA	304 KG		-	-	17625	82565
ARGENT	413 KG		18600	26380	124800	171100
TOTAL	990 KG		155900	228845	443525	656388
(E. U)	991 KG		44000	86897	44000	86897
0408.99-010			殻付きでない鳥卵(生鮮のもの及び冷凍したもの(蒸気若しくは水煮による調理をし又は成型したものを除く。))			
THAILND	111 KG		179040	72863	469980	191005
MALYSIA	113 KG		-	-	36576	13654
BRAZIL	410 KG		10000	4861	10000	4861
TOTAL	990 KG		189040	77724	516556	209520
0408.99-090			殻付きでない鳥卵(冷凍したもの(蒸気又は水煮による調理、成型したもの)又は蒸気若しくは水煮による調理、成型その他保存に適する処理をしたもの)			
CHINA	105 KG		248166	155830	729048	431611
VIETNAM	110 KG		50098	36677	110028	81668
THAILND	111 KG		98467	84807	345289	298965
TOTAL	990 KG		396731	277314	1184365	812244
0409.00-000			天然はちみつ			
CHINA	105 KG		3246574	889959	8800820	2435174
TAIWAN	106 KG		240	768	240	768
VIETNAM	110 KG		19720	8054	245350	59722
THAILND	111 KG		8280	1964	132396	52613
MYANMAR	122 KG		62010	28521	164210	71904
INDIA	123 KG		52494	27233	103688	50455
AFGNSTN	130 KG		300	429	300	429
ISRAEL	143 KG		1520	2553	1520	2553
KYRGYZ	154 KG		8900	12228	9233	12603
FRANCE	210 KG		843	1788	10747	25869
GERMANY	213 KG		13722	19010	13722	19010
SWITZLD	215 KG		2172	4264	4002	9744
PORTUGL	217 KG		-	-	717	1274
SPAIN	218 KG		14921	15280	34080	41764
ITALY	220 KG		9722	22397	21431	49497
RUSSIA	224 KG		138	458	138	458
HUNGARY	227 KG		55902	92141	300602	431856
GREECE	230 KG		1069	1298	3302	6120
ROMANIA	231 KG		1674	3293	95634	64474
BULGAR	232 KG		5648	10319	55948	61354
TURKEY	234 KG		-	-	7200	14765
ESTONIA	235 KG		354	985	891	2599
LATVIA	236 KG		-	-	96	271
LITHUAN	237 KG		-	-	1083	1771
UKRAINE	238 KG		41300	14046	60770	21272
CANADA	302 KG		286001	241198	859186	694631
USA	304 KG		999	4166	2190	8609
MEXICO	305 KG		19765	10148	81530	51707

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
GUATMAL	306 KG		-	-	103	294
CHILE	409 KG		300	3637	300	3637
BRAZIL	410 KG		213	318	2213	2084
ARGENT	413 KG		218208	90028	952027	398139
BURUNDI	534 KG		-	-	226	406
AUSTRAL	601 KG		56830	62098	142773	183356
NEWZELD	606 KG		42230	211371	185578	769641
NEWGALD	618 KG		-	-	289	1177
TOTAL	990 KG		4172049	1779952	12294535	5552000
(E. U)	991 KG		103855	166511	538253	705859
0410.10-000			食用の昆虫類(他の項に該当するものを除く。)			
R KOREA	103 KG		-	-	233	3232
CHINA	105 KG		-	-	202	928
VIETNAM	110 KG		200	856	7812	4569
THAILND	111 KG		24	624	90	2435
TOTAL	990 KG		224	1480	8337	11164
0410.90-100			あなつばめの巣			
MALYSIA	113 KG		500	45600	1520	139977
INDNSIA	118 KG		6	1070	93	11491
TOTAL	990 KG		506	46670	1613	151468
0410.90-200			食用の動物性生産品(他の項に該当するものを除く。)(昆虫類、あなつばめの巣及びプロポリス原塊を除く。)			
CHINA	105 KG		170	2283	190	2609
TOTAL	990 KG		170	2283	190	2609
0410.90-300			プロポリス原塊			
BULGAR	232 KG		-	-	30	498
BRAZIL	410 KG		-	-	3110	60300
TOTAL	990 KG		-	-	3140	60798
(E. U)	991 KG		-	-	30	498
0501.00-000			人髪(加工してないものに限るものとし、洗ってあ るかないかを問わない。)及びそのくず			
CHINA	105 KG		-	-	330	3570
TOTAL	990 KG		-	-	330	3570
0502.10-000			豚毛及びいのししの毛並びにこれらのくず			
CHINA	105 KG		-	-	9092	42989
TOTAL	990 KG		-	-	9092	42989
0502.90-000			あなぐまの毛その他ブラシ製造用の獣毛及びこれ らのくず(豚毛及びいのししの毛並びにこれらのく ずを除く。)			
CHINA	105 KG		610	2155	1899	17678
U KING	205 KG		2	2972	7	11577
TOTAL	990 KG		612	5127	1906	29255
0504.00-011			動物(魚を除く。)(ソーセージケーシング用の もの)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩 水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)			
CHINA	105 KG		168387	825551	590463	2786348
MONGOL	107 KG		-	-	3768	41140
USA	304 KG		-	-	8231	13121
AUSTRAL	601 KG		59663	313061	173163	800716
NEWZELD	606 KG		48611	258015	116991	590611
TOTAL	990 KG		276661	1396627	892616	4231936
0504.00-012			牛の腸(ソーセージケーシング用のものを除 く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩 水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)			
SPAIN	218 KG		-	-	31919	11985
CANADA	302 KG		90708	32844	272124	98254
USA	304 KG		759920	442522	2344481	1249495
MEXICO	305 KG		136224	62784	240165	109731
PANAMA	312 KG		-	-	1855	492
AUSTRAL	601 KG		95556	45096	305359	158088
NEWZELD	606 KG		643	276	643	276
TOTAL	990 KG		1083051	583522	3196546	1628321
(E. U)	991 KG		-	-	31919	11985
0504.00-019			動物(魚を除く。)(ソーセージケーシング用の			

(続く)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 5月8日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	3,268	2,700	2,578	-	-	
		安値	2,509	2,563	2,258	-	-	
		平均	2,823	2,616	2,481	-	-	
	92頭	頭数	73	13	6	-	-	
		雌 B	高値	-	-	-	-	-
			安値	-	-	-	-	-
	平均		2,590	-	-	-	-	
	1頭	頭数	1	-	-	-	-	
		去 A	高値	3,154	2,729	2,556	-	-
			安値	2,539	2,408	2,327	-	-
	平均		2,756	2,592	2,495	2,427	-	
	158頭	頭数	125	26	6	1	-	
去 B		高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
		雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
去 B -頭		平均	-	-	-	-		
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-		
	交雑牛	雌 B	平均	-	1,877	1,843	1,772	
		21頭	頭数	-	4	10	7	
雌 C		平均	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	去 B	平均	2,038	1,888	1,868	1,802	-	
		33頭	頭数	1	8	12	12	
去 C		平均	-	-	1,786	1,744	-	
	2頭	頭数	-	-	1	1		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚	その他
と畜 売買	403	971	-	(競り) (相対)	
	407	1,074	100.0	-	72

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A	2,562	2,263	1,911	1,802	-	
	B	-	-	-	1,717	1,388
和 去 A	2,658	-	-	-	-	
	B	-	-	-	-	-
乳 雌 B	-	-	-	-	1,248	
	C	-	-	-	1,244	1,188
乳 去 B	-	-	-	-	-	
	C	-	-	-	-	-
交 雌 B	-	1,914	1,824	1,711	-	
	C	-	-	-	1,696	-
交 去 B	-	-	-	-	-	
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	978	1,031	1,007	1,188	800
	安値	865	757	802	410	400
	平均	911	867	850	773	511
	頭数	(6)	(487)	(353)	(151)	(77)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

[大阪食肉卸売市場] 5月8日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,890	2,558	-	-	-
(頭数)	(16)	(7)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)
和 去 A	2,794	2,489	-	-	-
(頭数)	(13)	(2)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	2,058	1,924	1,867	1,783	-
C	-	-	1,793	-	-
交雑去 B	-	1,930	1,885	1,760	-
C	-	-	1,867	1,825	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表(頭)

	5月8日	5月7日	(5月累計)
豚	67,700	69,900	246,200
成牛計	4,190	3,690	11,290
和牛雌	1,280	790	2,920
和牛去勢	1,040	1,030	2,940
乳牛雌	540	540	1,530
乳牛去勢	480	470	1,260
交雑雌	390	410	1,280
交雑去	460	450	1,360

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 5月8日

東京	1,809 円	(前日 - 円)
大阪	1,831 円	(前日 1,868 円)

[豚・全農建値] 5月8日

上	中	取引頭数	市況
868 円	851 円	1,084 頭	急伸

と畜 売買	牛 104 頭	豚 142 頭	牛概況	もちあい
	牛 80 頭	豚 34 頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 5月8日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [七]	724 (724)	- (-)	6,371	-	もちあい
仙台 [中]	761 (752)	687 (712)	614	93	小高い
栃木 [地]	- (-)	- (-)	1,623	-	上場なし
茨城 [地]	815 (-)	772 (-)	1,262	487	反発
群馬 [地]	834 (806)	748 (698)	2,281	249	続伸
さいたま [中]	876 (851)	868 (834)	123	120	続伸
東京 [中]	867 (-)	850 (-)	971	1,074	急騰
横浜 [中]	861 (-)	835 (-)	686	520	反発
山梨 [地]	- (811)	- (787)	106	3	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	799 (815)	769 (787)	974	227	続落
京都 [中]	681 (-)	641 (-)	94	78	もちあい
大阪 [中]	- (817)	- (796)	142	-	上場なし
神戸 [中]	768 (817)	767 (816)	-	92	下押し
岡山 [地]	762 (-)	762 (-)	429	440	強気配
広島 [中]	798 (790)	759 (733)	323	83	反発
福岡 [中]	742 (752)	709 (704)	585	212	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 5月1日～5月7日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 471,427 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,288	1,436	1,585	1,429	19,595
うで	826	950	1,053	943	30,078
ロース	1,124	1,296	1,517	1,309	45,476
ばら	1,352	1,415	1,598	1,439	41,862
もも	800	864	923	864	42,060
ヒレ	1,188	1,188	1,404	1,212	3,984
セット	1,097	1,163	1,259	1,174	288,372

◇近畿圏 総重量 459,186 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,318	1,425	1,512	1,421	39,479
うで	823	864	885	861	76,083
ロース	1,223	1,288	1,350	1,285	60,983
ばら	1,339	1,455	1,539	1,446	74,145
もも	820	861	918	866	101,593
ヒレ	1,260	1,350	1,571	1,379	7,562
セット	1,010	1,133	1,226	1,129	99,341

[食鳥正肉日経相場] 5月7日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	759	837	997	166
ムネ	431	484	657	141

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	786	870	1,050	2
ムネ	445	514	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 5月7日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,036	708	550	600	650
安値	770	456	290	360	350
平均	856	493	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日期間中（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します